

—— プログラム大綱 ——

特別講演：「医療データの流通と利活用の時代に向けて
～未来医療の姿と実現のための課題～」

松村 泰志(国立病院機構大阪医療センター)

理事長講演：「バイオマーカー開発と産学連携への期待」

和田 隆志(金沢大学大学院)

教育講演 1：「臨床検査分野で必須の統計処理法と活用の要点」

市原 清志(山口大学大学院)

教育講演 2：「臨床検査技師、自身の振り返りと後輩へのメッセージ」

横田 浩充(慶應義塾大学病院)

シンポジウム 1：「溶血検体、混濁検体の測定、どうしてですか？」

1) 溶血・混濁の発生機序と対策

清宮 正徳(国際医療福祉大学)

2) 生化学自動分析装置の血清情報の仕組みと基準

藤本 一満(倉敷芸術科学大学)

3) 生化学・免疫項目における溶血・混濁の影響と対策法

姫野 美保(ファルコバイオシステムズ総合研究所)

4) 血液検査における溶血・混濁の影響と対応

田辺 祐也(京都第二赤十字病院)

シンポジウム 2：「甲状腺の検査」

1) 機械学習ソフトを用いた一般血液検査からの甲状腺中毒症の予測について

吉原 愛(伊藤病院)

2) 医師と技師の協力により作成した甲状腺機能検査の再検査基準

畑 伸顕(大阪大学医学部附属病院)

3) 甲状腺超音波検査と過剰診断—福島での甲状腺検査の経験から—

緑川 早苗(宮城学院女子大学)

シンポジウム 3：(仮題)「尿一般検査における精度管理」

1) (仮題)標準化の現状と展望

菊池 春人(済生会横浜市東部病院)

2) (仮題)自動分析装置の機種間差やメーカー間差

堀田 真希(大阪大学医学部附属病院)

3) (仮題)内部精度管理の実例と ISO 対策

神山 恵多(群馬大学医学部附属病院)

- 4) (仮題)外部精度管理の活用方法
横山 貴(東京女子医科大学病院)

シンポジウム4：「理想の臨地実習について考える」(私立医科大学臨床検査技師会共催)

- 1) 依頼側代表
坂本 秀生(神戸常盤大学)
- 2) 学生実習代表
山田 夏妃(杏林大学)、松下 里奈(神戸常盤大学)
- 3) 臨地実習施設代表
桑原 喜久男(新潟県済生会三条病院)

JACLaS 共催国際シンポジウム(国際交流委員会)

モーニングセミナー1：「生化学・免疫検査における再検査、どうしてますか？」

- 1) 病院検査室における再検基準、頻度、落とし穴、工夫など
山本 裕之(京都府立医科大学附属病院)
- 2) 検査センターにおける再検基準、頻度、落とし穴、工夫など
藤本 一満(倉敷芸術科学大学)

モーニングセミナー2：「血球計数と血液凝固検査の再検について」

- 1) 当院における血球計数の再検について
屋代 いづみ(獨協医科大学病院)
- 2) 血液凝固・線溶検査に異常があった場合の再検査や対処方法
～血液検査機器技術委員施設の例を紹介～
内藤 麻美(つくば i-Laboratory LLP)

技術セミナー

科学技術セミナー、遺伝子・プロテオミクス技術セミナー、POC セミナー
血液検査機器技術セミナー、医療情報技術セミナー
微生物検査・感染症技術セミナー、生理検査技術セミナー

ランチョンセミナー、機器・試薬セミナー、サテライトセミナー

RCPC

論文賞受賞講演、優秀演題賞受賞講演、JACLaS Award 受賞講演